

ソニー生命カップ 全国レディーステニス大会 第2回チャレンジ大会

- 主催 日本女子テニス連盟 岐阜県支部  
後援 岐阜県テニス協会  
協賛 ソニー生命保険株式会社  
協力 株式会社ダンロップスポーツマーケティング
- 大会委員長 名里美穂子 (日本女子テニス連盟岐阜県支部長)  
ディレクター 山下里登美 (全国レディース委員長)  
レフェリー 藤原ちえみ  
アシスタントレフェリー 山田美鈴  
運営委員 田村弘美  
岩田康宏 (ソニー生命保険株式会社岐阜支社 第4営業所長)
- 競技委員 梅田宗子 白岩美幸 白木由美子 西田忠昭
- 日程 平成26年9月22日(月) 予備日9月24日(水)  
受付時間 午前8:30 ~ 9:00
- 会場 岐阜メモリアルセンター長良川テニスプラザ (ハードコート)  
〒502-0817 岐阜市長良福光大野 2675-28 TEL058-233-8822
- 種目 女子ダブルス
- 試合方法 「JTA テニスルールブック 2014」に準ずるトーナメント  
すべての試合にノーアドバンテージ方式を採用  
本戦は1セットマッチ6-6タイブレーク  
コンソレーションは4ゲーム先取 (敗者ボールを使用)  
セルフジャッジ  
ウオームアップはサービス4本とする
- 使用球 ダンロップフォート  
(ソニー生命カップ第36回全国レディーステニス大会指定球)  
敗者、使用球持ち帰り
- 服装 「JTA テニスルールブック 2014」に基づく  
テニスウェアを着用・長ズボン可・ロゴ規定はありません。
- 傷害 試合中に発生した傷害については、その場にて主催者が応急処置はしますが、  
それ以後の責任は負いません。
- その他 本大会は、ソニー生命カップ第36回全国レディーステニス大会に準じて行い  
ます。  
この大会の申込者で50才以上(1964年12月末日以前出生)の選手は、朝日  
東海レディーステニス大会クイーンの部の参加資格があります。  
\*第36回全国レディーステニス大会県予選の最終日前日までに、大会本部  
へ申し込む。  
本大会は、すべてのプレーヤーを公平に扱います。  
本要項は、天候等、止むを得ない事情により変更される事があります。

## ☆☆注意事項☆☆

1. 受付時間までに試合のできる服装に着替え、二人そろって本部に届け出る。遅刻は失格とする。
2. 試合順序は本部掲示板を確認し、指定されたコート付近で待機する。
3. 前の試合終了後、直ちにコートに入り試合を始める。対戦相手が来ない場合はローピングアンパイアを呼ぶ。
4. ポイント間は 20 秒以内とし、エンド交代時は 90 秒以内の休憩とする。第 1 ゲーム終了後とタイブレーク中は休憩なしでエンドを交代する。
5. 試合終了後、勝者は直ちにスコアシートを本部に届け、次の試合の確認をする。

## ☆セルフジャッジについて（選手自身が判定とコールをします）

1. サーバーはサーブを打つ前にスコアをレシーバーに聞こえる声で言う。
2. ネットより自分側の判定とコールをする。  
ボールがラインにタッチした時、見失って判定できなかった時は「グッド」  
ボールとラインの間にはっきりと空間が見えた時は「アウト」「フォールト」
3. 相手に聞こえる声と相手に見えるハンドシグナルで速やかに行う。  
代表的なハンドシグナルは 人差し指を出して「アウト」「フォールト」、手のひらを地面に向けて「グッド」
4. いったん「アウト」「フォールト」とコールし、それを「グッド」に訂正したら失点となる。
5. 判定とコールは一人の選手が行えば成立する。ペアの判定が食い違った場合は失点となる。ただし、サービスがネット等に触れた後「フォールト」と「レット」に食い違った場合は「(サービスの)レット」になる。
6. サービスのレットはレシーバー側がコールする。
7. インプレー中、他コートからボールが入ってくるなどの妨害が起こった場合は「レット」をコールしてそのポイントをやり直す。  
レットがコールされる前に打たれたボールが、コート内に正しく入らなければ打った側の失点。明らかなウイニングショット・エースならば打った側の得点。  
ポイントが終了した後で、妨害があったとしてやり直しの要求はできない。  
第 2 サービスのモーションに入った後に妨害があった場合は第 1 サービスとなる。
8. 第 2 サービスからのインプレー中、第 1 サービスのフォールトのボールを誤って蹴飛ばした場合、相手のプレーヤーが妨害と判断した場合「レット」をコールできる。2 回目以降は、その度に相手への故意による妨害となり、失点する。
9. トイレ、着替えなどで試合中にコートを離れたい時は相手の同意を得て、ローピングアンパイアに申し出る。
10. 相手選手のフットフォールト等疑問がある時はローピングアンパイアに申し出る。
11. 試合中に発生したケガや病気の時は、ローピングアンパイアに要求後、次のエンド交代時(緊急を要する場合は直ちに)、1 試合に 1 回のみ 3 分間の M T O をとり、時間内に自分で手当てをすることができる。  
筋ケイレンの場合、エンド交代の時間内に限り処置をしてもよいが、M T O をとることはできない。

## ☆試合中にわからない事や困った事が起きたら

ローピングアンパイア（コート付近の通路にいます）を呼んでください。

# ソニー生命カップ 全国レディーステニス 第2回チャレンジ大会

2014. 9. 22

